

Satsumasendai City Public Relations

薩摩川内

広報

さつませんだい

11

November.2020
vol.386

P2~3 岩切秀雄市長が退任
P4~9 キジカケル 突撃レポート!スペシャル
~蘭牟田池と竜石伝説を追え!編~

「みんなのふるさと 躍動 薩摩川内」を目指して 岩切秀雄市長が退任

岩切秀雄市長が、任期満了により退任いたしました。

ここに、市長の退任あいさつと本市の歩みを紹介します。



私ごと、
去る11月6日、市長の職を
任期満了により、退任いた
しました。

顧みますと、平成20年11
月に薩摩川内市長に就任
以来、3期12年間、「躍動
薩摩川内」の実現を目指し、
日々、さまざまな懸案や課
題と向き合い、また、新し
い取り組みにもチャレンジ
してまいりました。私なり
の道筋を示し、なんとか職
責を全うすることができた
のではないかと考えており
ます。市民の皆さまの温か
いご理解とご支援に対し厚
くお礼申し上げます。

本市においても人口減少、
少子・高齢化が急速に進展
する中、少子化対策、女性
活躍の推進、男女共同参画
社会の形成に努めるととも
に、交流人口の拡大による
地域経済の活性化が図られ
るよう、観光・シテイセー
ルス施策の展開、スポーツ
合宿の誘致に努めてまいり
ました。また、雇用を確保
するため、企業誘致、六次
産業化、次世代エネルギー

などの産業振興にも積極的
に取り組んでまいりました。
今年8月には甕島市民の
長年の夢であった「甕大橋」
が開通し、来年1月には川
内駅東口に「SSプラザセ
ンдай」がオープンします。
また、川内文化ホール跡地
の利活用についても検討を
進めています。



さらに、南九州西回り自
動車道阿久根川内道路、川
内市街部改修や川内川河
口部の高潮対策などの事業
が進捗し、重要港湾川内港
の港湾計画が30年ぶりに改
訂され、川内港久見崎みら
いゾーンの造成工事が開始
されるなど、本市の10年、
20年先の発展のために必要
不可欠な事業が着実に進展
しつつあります。

一方で、新型コロナウイ
ルス感染症の拡大による、
市民生活や経済活動への影
響は大変大きなものとなっ
ており、本市も、これから
の新しい社会づくりに適切
に対応していかなければな
りません。

薩摩川内市民憲章に「考
えさえすればみちはひらけ
る」、「やりさえすればか
ならずできる」とうたわれ
ています。地域の市民、事
業者、市議会、関係機関な
どの皆さまと行政が一体と
なって叡智を結集し、さま
ざまな問題解決に取り組ん
でいくならば、必ずやこの
国難ともいえる状況を克服
し、若い世代や次世代の子
どもたちに躍動する薩摩川
内を引き継いでいくことが
できると確信しております。

結びに、薩摩川内市のさ
らなる発展と市民の皆さま
のご多幸を心から祈念いた
しますとともに、重ねて深
甚なる感謝の意を表し、退
任のあいさつといたします。
本当にありがとうございました。

岩切市長就任後の歩み



- 2009年 (平成21年)
 - 5月 ブランドロゴマーク「薩摩川内スピリッツ」公表 1
 - 6月 市民歌「輝け未来へ」制定
 - 9月 「甕島のトシドン」
 - ユネスコ無形文化遺産登録
- 2010年 (平成22年)
 - 10月 市制施行5周年記念式典
 - 4月 ゴールド集落活性化条例施行
 - 「子ども医療費助成事業」開始
 - 8月 久住橋開通
- 2011年 (平成23年)
 - 3月 九州新幹線全線開業
 - 4月 観光船かこの新船就航
 - 5月 全国トンボ市民サミット開催
 - 12月 防災行政無線戸別受信機整備完了
- 2012年 (平成24年)
 - 4月 汚泥再生処理センター供用開始
 - 5月 韓国昌寧郡と友好都市協定締結 2
 - 8月 富士通インテグレートドマイクロテクノロジー九州工場閉鎖発表
 - 11月 スポーツ交流研修センターオープン
- 2013年 (平成25年)
 - 3月 FMさつませんだい開局
 - 住民票などのコンビニ交付開始
 - 南九州西回り自動車道 (薩摩川内水引IC～薩摩川内高江IC)開通
 - 4月 旧増田家住宅一般公開開始
 - 7月 農林漁業の六次産業化の促進に関する条例制定
 - 11月 薩摩川内市企業連携協議会設立
- 2014年 (平成26年)
 - 4月 高速船甕島就航 3
 - 7月 新消防庁舎開庁
 - 10月 スマートハウス一般公開開始
 - 市制施行10周年記念式典
 - 12月 「旧増田家住宅」国の有形文化財指定
- 2015年 (平成27年)
 - 1月 エコパークかごしま稼動
 - 3月 南九州西回り自動車道川内隈之城道路開通
 - 甕島国定公園新規指定
 - 10月 国民文化祭・かごしま2015開催 (皇太子殿下御視察行啓) 4
- 2016年 (平成28年)
 - 3月 天辰寺前古墳公園開園
 - 4月 産業支援センター開所
 - 水道局お客様センター開所
 - 9月 薩摩川内市350ベジライフ宣言
 - 11月 川内とれたて市場オープン
- 2017年 (平成29年)
 - 4月 樋協グラウンド・ゴルフ場オープン
 - 8月 女性活躍推進協議会設立
 - 薩摩川内イクボス推進宣言 5
 - 11月 常熟港向け木材輸出初出航
- 2018年 (平成30年)
 - 4月 総合防災センター開所
 - 10月 本土4支所業務見直し・再編、3出張所廃止
 - 南九州西回り自動車道阿久根川内道路着工
 - 11月 甕島のトシドン ユネスコ無形文化遺産拡張登録
 - 12月 中国常熟市から岩切市長が名誉市民表彰を受章 6
 - コンベンション施設整備・運営事業着工 7
- 2019年 (平成31年)
 - 3月 川内大綱引「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」国選択
 - 川内高城温泉バイパス開通
 - 4月 東郷学園義務教育学校開校
 - 5月 入来麓、里麓、手打麓の3麓地域などを含む文化財が日本遺産認定
 - 6月 白和町で発見された不発弾を処理
 - 7月 全国高校総体バスケットボール競技開催 (秋篠宮皇嗣同妃両殿下が競技御観戦)
 - 10月 川内川高潮対策事業着工
 - 11月 川内港港湾計画改訂
- 2020年 (令和2年)
 - 2月 アルゼンチン男子バレーボールチーム、2020東京オリンピック競技事前キャンプに関する協定締結
 - 2月 新型コロナウイルス対策本部設置
 - 8月 甕大橋開通 8
 - 9月 川内川交流センターオープン
 - 10月 大小路地区かわまちづくり整備事業着工
 - 映画「大綱引の恋」鹿児島先行公開

生態系保存資料施設 **アクアイム**



アクアイムの入口では、ドクターフィッシュがお出迎え。手を入れると吸い付いてきます。なんでも手足の表面の古い角質を食べるために集まってくるんだとか。館内には、蘭牟田池に生息する動植物の展示や水槽、蘭牟田池をボートで散策するシミュレーションゲームなどで、蘭牟田池の生態系などを楽しく学ぶことができます。



いきいき!!
アクアイム!!

第15回

スペシャル
**ネジカケル
突撃レポート!**
蘭牟田池と竜石
伝説を追え!編



祁答院町の蘭牟田池県立自然公園に「竜石」なる岩があると聞きました。蘭牟田池は、7つの外輪山に囲まれた海拔295mの火口湖で、春は花見、秋は紅葉と四季を通して楽しめる薩摩川内市屈指の景勝地。でも、竜石ってのは、あんまり知られていないかも。何でもそこは、蘭牟田池が見渡せる絶景スポットで、それにまつわる伝説まであるそうです。これは、面白そう。ぜひ行ってみたいと。

県道42号線から標識を頼りに車で急な山道を登り切ると、突然視界が開きました。蘭牟田池に到着です。周囲約4kmの静かな湖は、サイクリングコースとしても最適で、ボートや釣りも楽しむことができます。また、現在9割近くが絶滅し、ごくわずかな地域のみ生息する国内希少野生動物種である「ベッコウトンボ」の生息地としても知られています。



国の天然記念物と
ラムサール条約

蘭牟田池の西側一帯に発達している低層湿原には、自生の植物が枯れた後、堆積し、炭化して水面に浮かび上がった「浮島」と呼ばれる泥炭があります。この浮島は国の天然記念物にも指定されています。また、蘭牟田池は、希少野生動物種のベッコウトンボや水鳥の生息する重要な湿地として、平成17年11月にラムサール条約登録湿地(※)としても登録されています。



蘭牟田池を満喫!
サイクリング
やボートなどで
楽しんだ後、よ
うやく「竜石」の
ことを思い出し
ました。

今から、竜石を目指します!

蘭牟田池から、カーナビを頼りに、細い山道を10分ほど車で上ると、案内板と竜石伝説の看板のある所に着きました。



車3台ほどの駐車スペースもあります。どうやらここで間違いなさそう。そして、ここからは、車を降りて歩いて登らないといけないようです。

プチ登山という感じのなかなかの急こう配を10分ほど登ると、山頂らしい所に着きました。しめ縄のようなもので巻かれた岩とその横に祠が見えます。あれが「竜石」のようです。鋭く尖った大岩は、確かに竜か何かのようにも見えます。

そして、竜石に向かってさらに歩を進めると、眼前には、うわさ通りの壮大なパノラマの絶景が広がりました。しばらく絶景を堪能したのち下山しました。

戻ってからも興奮冷めやらぬまま、興味を持って調べていくと、「祁答院郷土史」の中に、竜石と蘭牟田池まで含めた言い伝えを確認することができました。次ページに原文のまま抜粋します。

※ラムサール条約の正式名称は、「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」とい、イランのラムサールという町で採択されたことから一般的に「ラムサール条約」と呼ばれています。



眼前に広がるのは 七峰を望む絶景のパノラマ



出典：祁答院郷土誌

蘭牟田の山と池のはなし

蘭牟田池をとり巻く山々には次のような一連の伝説がある。

一 飯盛山

そのむかし、蘭牟田に男竜・女竜の二人の神様が仲よく暮らしていた。山紫水明四季それぞれに花はほころび、快い小鳥の囀りを聞きながらの平和な日々であった。

しかし、やがて男神は二人だけの生活に飽き、嵐の激しい一夜こっそり池を抜け出し行方知れずになってしまった。残された女神は男神の裏切りに気付かず、そのうち帰ってくるものとばかり信じ、男神のための陰膳を備えてその無事を祈りつづけた。

捨てた陰膳の飯が一年、十年、百年と積み重なってやがて大きな山となった。この飯盛り山をのちに飯盛山というようになったという。

二 愛宕の原生林

月日はむなしく過ぎ、何年たっても男神は帰らない。そのうち風の便りに、男神は霧島の大浪の池で他の女神たちと一緒に暮らしていることがわかった。

淋しさと恋しさに堪えかねた女神

四 竜石

こうして、幾百年、幾千年と時は過ぎたが、女神はどうしても男神を諦めることができず、悶々の日々を重ねていた。

池水に写る自分の姿はいつにも変わらず若々しく美しいけれども、一旦竜の姿に戻ってみるとさすがに年老い、髪は真白、背には苔や水草が生えて見る影もない。このような姿を里人に見られることを恐れた女神は、霧の深い夜を待ち続けた。霧のもうもうとたちこめた夜、女神は「今度こそ必ず天に上り大浪の池に辿り着かずにおくものか」と決意し、竜の姿に戻って場所をかえ西側の低い山をソロソロりと登っていった。

丁度頂上に登り着いた途端に、どうしたかたちかたちこめていた霧が俄に晴れ、差し込む朝の薄明かりにみにくい巨大な竜の姿が現われた。たまたま鴨取りに来た里人がこれを見て「あつ竜だ、竜だ」と叫ぶ声に驚いた女神は、今はこれまでと無念の涙をのみながら忽ち岩の姿に変わってしまったという。

池の西側、山の頂上から中腹にかけて並び聳える大岩がこれであって、人びとはこれを竜石と呼んでいる。

は、どうかして男神を連れ戻そうと思った。

しかし、竜神が旅をするにはもとの巨大な竜の姿にかえって雲に乗って行かねばならない。女神は雲のあたる夜毎に、竜の姿にかえって天に上ろうとしたが、一向に雲に手が届かず、いたずらに滑っては山の斜面を崩すばかりであった。

ついに長い年月の間に、山頂から中腹にかけて大きな谷間ができたのである。

この山を愛宕山という。のちの人びとはここを馬の放牧場として毎年春先に山焼きをしたが、不思議にこの谷間には火が燃え移ることもなく、原生林となって今も残っている。

三 住吉池とのつながり

山から天に上ることを諦めた女神は、地中を潜って大浪の池に行くことに決め、何十年もかかって穴を掘り進み、ついにある池に頭を出すことができた。しかしこの池は蒲生の住吉池であって、霧島は遙かに遠いことがわかり、女神は地中を行くことを諦めてしまったという。

のちの人びとは、蘭牟田池の蘭草取りがあると、必ず住吉池が濁り蘭の根が浮かんでくるといって、二つの池は地中で連なっていると信じていた。

竜石の話をかいつまんで言っても、浮気をした男竜を忘れることができない女竜が、男竜の居場所を突き止め、連れ戻しに行こうとした道の途中で、急に晴れた霧のせいで人間にその姿を見られたため、竜としての神通力を失い、無念の涙をのみながら岩の姿に変わってしまったというもの。

また、竜石伝説の看板では、その続きの話を読むこともできます。



